

# 研究成果の 事業化手法としての ベンチャー

## ～京大研究者2名が語る 「きっかけ」「リアル」「これから」～

2021年度における国内大学発ベンチャー数は前年度から401社増加し、過去最多の3,306社にのぼっています。このうち約54%が、大学の研究成果に基づく特許や新たな技術・ビジネス手法を事業化する目的で新規に設立された、いわゆる研究成果ベンチャーです。

このように、研究成果の事業化の一手法として確立されつつある「大学発ベンチャー」については、京都大学においても資金面・人材面等を中心にサポートを展開しており、今後さらに多くの研究成果ベンチャーを生み出し、その成果を新産業の創生や社会的価値の創出につなげていこうとしています。

本セミナーでは、研究成果をベースにベンチャー設立に関わった研究者2名からその契機や実態について、ご紹介いただきます。また、京大発ベンチャーをサポートする立場から、大学発ベンチャーにおける研究者の役割やメリットなどの概観についても紹介します。

研究成果の事業化手法としてのベンチャー化にご関心のある研究者等の方は、是非お申込みください。



京大大学生存圏研究所  
教授  
(株)Space Power Technologies  
科学顧問  
篠原 真毅



京都大学教育学研究科  
准教授  
(株)京都テキストラボ  
取締役  
野村 理朗



京都大学イノベーションキャピタル(株)  
支援・投資委員 投資第一部長  
京都大学 産官学連携本部  
戦略統括部(兼務)  
八木 信宏

日時 **2023/1/20** **金**

12:00 ~ 13:45 【後日見逃し配信あり】

方式 **オンライン開催 (Zoom)**

定員 200名 (京大教職員又は学生限定)

※お申込みいただく際には、京都大学のメールアドレスが必要になります。これ以外での登録の方は参加いただけません。

参加費 無料

申込・詳細 <https://www.kyodai-original.co.jp/?p=17292>



申込期限 2023年1月19日(木) 12時

主催：京都大学産官学連携本部

共催：京都大学イノベーションキャピタル株式会社  
京都大学学術研究展開センター、京大オリジナル株式会社

お問合せ

京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部

E-mail : kensyu@kyodai-original.co.jp TEL : 075-753-7778

こちらについてお聞きします!

登壇者から、ベンチャー化の「きっかけ」「リアル」「これから」を余すことなくお聞きします。

- どうしてベンチャーに関わることになりましたか？ その際、どんな葛藤がありましたか？
- ベンチャーに関わって、よかったこと／わるかったこと／想像とちがうこと は？
- ベンチャー化にあたっての金銭負担はどのくらい？
- 研究者としてのキャリアへの影響は？
- 今後、どのように研究との両立を進めていこうと考えていますか？

# プログラム

12:00-12:05 開会挨拶  
京都大学産官学連携本部 副本部長 木村 俊作

12:05-12:35 トーク①「**ガラスの天井の破り方 - 産官学連携による日本流技術の社会還元 -**」  
京都大学生存圏研究所 教授 (株式会社Space Power Technologies 科学顧問)  
篠原 真毅

学生時代より一貫して京都大学生存圏研究所(改組前より)に所属、2010年より同研究所教授、現在に至る。工学博士、専門はワイヤレス給電、宇宙太陽発電所、マイクロ波プロセッシング。2013年にワイヤレス電力伝送実用化コンソーシアムWiPoTを立ち上げ、代表として40社以上の企業会員を取りまとめる。(株)Space Power Technologies社技術顧問も務める。現在日本学術振興会特任連携会員、内閣府宇宙政策委員会委員、経済産業省委託事業太陽光発電無線送受電技術委員会委員長等の他、IEEE MTTs AdCom Member、IEEE Wireless Power Transfer Conference & Expo Founder and Steering Committee member、Union of Radio Science International (URSI) Commission D Chair、宇宙太陽発電学会理事長等も務めており、産官学連携による世界のワイヤレス給電の実用化を目指して活動をしている。

12:35-13:05 トーク②「**人社系から創業の地平を拓く**」  
京都大学教育学研究科 准教授 (株式会社京都テキストラボ 取締役)  
野村 理朗

人文社会学系として、国内初のベンチャーを共同設立する。博士(学術)。日本学術振興会特別研究員PD、広島大学准教授、2010年より京都大学大学院教育学研究科。2020年に京都テキストラボ(株)を設立・同社取締役就任、専門の心理学を基盤に深層学習を融合し、テキスト情報のセンチメント分析から未来を予測する技術を開発し、人社系イノベーションを先導している。Scientific Report、Molecular Psychology等をはじめとする国際学術雑誌の編集顧問・委員、経済産業省(「アートと経済を考える会」等)専門委員を歴任。

13:05-13:20 トーク③「**京大発ベンチャーの作り方・資金の集め方**」  
京都大学イノベーションキャピタル株式会社 支援・投資委員 投資第一部長  
京都大学 産官学連携本部 戦略統括部(兼務)  
八木 信宏

京都大学イノベーションキャピタル(株)にてアカデミア発ディープテックへの投資を行うキャピタリスト。事業領域を問わず、基礎研究の成果を基に新会社を組成する創業案件を得意とする。代表的なポートフォリオに日本発の核融合ベンチャーである京都フュージョンリアリング(株)やリーガルテック大手の(株)LegalForceがある。京都大学ではアカデミア発スタートアップを連続創出する起業家クラブ“ECC-iCAP”のファウンダーとして起業エコシステムを構築。京都iCAP入社以前は、国内外において産官学の研究所に所属した広範な研究経歴を持ち、前職の大手製薬会社では学際融合による新事業領域の立ち上げを主導した。事業開発ライセンスの経験を有し、これまで関与した導出入契約の総額はUSD1Bを超える。現在も化学や医学領域での教育研究を継続している。博士(薬学)

13:20-13:40 質疑応答(3名とも)

13:40-13:45 事務局案内

## 京都大学 産官学連携本部

未来の創造に貢献していくこと、社会の課題解決に取り組むことが、かつてないほど大学に求められています。京都大学産官学連携本部は、大学の知を産業界に繋ぎ、共に新たな価値を創出することで、未来創造と社会課題の解決に取り組むことを使命としています。

### 【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- ・本セミナーの全部又は一部を第三者に提供する行為
- ・本セミナーの録音、録画、撮影、その他複製行為
- ・同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為

## 京大オリジナル株式会社

京大オリジナル株式会社は、京都大学が100%出資した事業子会社で、研修講習事業とコンサルティング事業を行っています。弊社の収益の一部は京都大学に還元され、最先端の研究などに活用されます。

京大オリジナル(株)のイベントはこちら

[https://www.kyodai-original.co.jp/?page\\_id=2180](https://www.kyodai-original.co.jp/?page_id=2180)



最新のイベント案内やイベントレポートはこちら

<https://www.facebook.com/kyodaioriginal/>

